

がん対策日本一に向けた取組の強化【一部新規】 R2:540,545千円(R元:394,138千円)

1 ねらい

「がん対策日本一」の実現を目指した総合対策の加速化を図るため、行政、県民、保健医療関係者、事業者等の関係者が相互に連携協力し、県民総ぐるみとなったがん対策を推進する。

2 事業内容

(1) がん予防・がん検診

- ① たばこ対策推進事業 (1,153千円)
 - ・受動喫煙防止対策の推進【新規】
健康増進法に規定する新たな受動喫煙防止対策等について、施設管理者に対する相談指導等を実施
- ② ウイルス性肝炎対策 (12,505千円)
 - ・肝疾患コーディネーターの養成・活用
市町の保健師・企業の健康管理担当者等を「肝疾患コーディネーター」として養成し、肝炎ウイルス検査の受検勧奨や陽性者に対する受診勧奨を実施
 - ・肝炎患者重症化・肝がん予防推進事業
「肝疾患患者フォローアップシステム」を活用した継続的な受診勧奨及び定期検査費用の助成等により、肝炎の重症化・肝がんへの進行を予防
- ③ がん検診受診率向上対策事業 (40,419千円)
 - ・職域がん検診推進事業
がん検診未実施の協会けんぽ加入企業に対する検診実施の促進
 - ・市町がん検診個別受診勧奨支援事業
市町が実施する受診勧奨・再勧奨の手法等の改善への支援
- ④ S I Bの手法を用いた新たながん検診の個別受診勧奨 (18,414千円)
市町国保加入者等をターゲットにした再勧奨、精密検査受診勧奨への支援
- ⑤ がん検診精度管理推進事業 (5,530千円)
市町が実施するがん検診の精度向上のため、専門家による評価・助言、研修等を実施

(2) がん医療

- ① 広島がん高精度放射線治療センターの運営(344,942千円) 【一部新規】
 - ・広島がん高精度放射線治療センターを指定管理者により運営
 - ・指定管理者に対する運転資金の貸付
 - ・医療情報ネットワークの機器更新
- ② がん診療連携拠点病院機能強化事業(96,000千円)
がん診療連携拠点病院が実施する機能強化事業に対する補助

(3) がんとの共生

- ① 緩和ケア推進事業 (11,871千円)
在宅及び施設における緩和ケアの充実並びに緩和ケアに携わる医師、看護師及び薬剤師の資質向上研修の実施
- ② がん患者・家族相談支援事業 (5,137千円)【一部新規】
 - ・情報提供・相談支援
がん患者及びその家族等への情報提供・相談体制の充実並びにがんピアサポーターの養成
 - ・治療と仕事の両立支援
医療機関における就労支援体制構築に向け、拠点病院にモデル的に就労支援コーディネーターを配置し、実効性のある仕組みを検討、社労士による就労相談・就労支援コーディネーター研修の実施
 - ・ライフステージに応じたがん患者への支援
妊孕性温存治療の普及啓発及び治療費助成
高齢がん患者の意思決定の支援(啓発リーフレットの作成)
- ③ T e a mがん対策ひろしま推進事業 (4,574千円)
がん予防・検診、患者団体支援及び就労支援に総合的に取り組む「T e a mがん対策ひろしま」登録企業の拡大を図るとともに、その取組を支援し、地域全体でのがん対策を推進